

彩の歳時記

平成二十五年

六月

杜若かきつばた語るも株の一つなり 芭蕉 実盛さねもりが草摺くさすりゆかし杜若 長谷川かひ 權か

「何いざれ菖蒲あやめか杜若」というように「あやめ」も「かきつばた」も同科の花で区別しにくいところから「どれも優れていて選択に迷うこと」の意。

尾形光琳おがたこうりんの「燕子花図かきつばたず」の剣つるぎのような葉と紫の燕子花は、花が燕つばめの字に似ていることに因る。また、この花の汁をこ摺り付けて染めたことから「書き付け花かきつばた」かきつばた。

『伊勢物語』を材に『平家物語』さらに能『杜若』と、古典作品に多く採り上げられています。一日から二十日まで堀切・小岩・東村山菖蒲園・水元公園で菖蒲まつり開催。

六月の異称 水無月みなつき 「水な月」＝「水の月」。田植が終わり田に水を張る月「水張月みずはりつき」

六月の暦

一日 衣替え 日本特有の習慣で平安時代の宮中で始まる。江戸の武家で、袴・単衣など時期の制度化、明治期の制服制度化を経て、現在、官公庁・企業・学校など行われるが、近年は厳密ではない。きものの衣替えは伝統を重んじ、袴から単衣と替り、文様・柄（菖蒲など）も季節感を醸し出している。

五日 芒種ぼうしゅ【二十四節気】芒のぎ（コメ、ムギなどの先端にある棘状の突起）の種を蒔く時期。

六日 お稽古の日・邦楽の日、楽器の日 六歳の六月六日から始めると上達すると言う伝承に因る。十一日 入梅 暦の上では、梅雨入り。夏の始まり。

十五日 千葉県民の日 1873年(明治6年) 印旛郡と木更津県が合併し、初めて千葉県の名称に。枋木県民の日 1873年(明治6年) 宇都宮県と枋木県が合併したことに由来。

十六日 父の日 「第三日曜日」歴史は浅く、1972年、当時のニクソン米大統領が「六月の第三日曜」を父の日にと宣言、米では正式な祝日。

十九日 桜桃忌おうとうぎ 今も人気の高い小説家、太宰治【1909～1948】の遺体が玉川上水で発見された日。誕生日でもあることからこの日に。晩年の作品「桜桃」に因む。青森県津軽の大地主の家に生まれる。東京帝大仏文科中退。『走れメロス』『津軽』『斜陽』『人間失格』など、その作風から坂口安吾、織田作之助、石川淳らとともに新戯作派、無頼派と称された。生家・斜陽館は現存「重要文化財」。子に小説家・津島佑子・太田治子がいる。

二十一日 夏至げし【二十四節気】 夏に至る。 のびきつて夏至に逢ふたる葵かな 子規

二十四日 林檎忌 平成元年、昭和の終わりと期を一にして、歌謡界の女王、美空ひばり【1937～1988】が逝去。『りんご追分』に因む。

三十日 夏越なごしの祓はらえ 十二月と六月の晦日みそかに行なわれ、平安時代から続く行事。疫病除を祈願。「茅の輪くぐり」など京都の上賀茂神社が有名。

六月の歌 雨の御堂筋 1971【昭和44年】年 詞 林春生【1937～1998】

林は島根県出身、「サザエさん」「京都の恋」「白いギター」などを作詞、「サ・ヒットパレード」「ミュージックフェア」などを制作した。曲は、ベンチャーズで、「二人の銀座」「京都の恋」など歌謡曲も手掛けた。歌唱の欧陽菲菲【1949～】は、台湾出身で日本と台湾の両国をベースに活躍、現在も台湾を代表する国民的人気歌手の一人。夫は伝説的元レシーサーの式場壮吉氏。「小ぬか雨」は、小さい糠ぬかのような雨粒で音もなく振る。



こぬか雨降る 御堂筋
こころ変りな夜の雨
あなた あなたは何処よ
あなたをたずねて 南へ歩く
中略
ああ降る雨に泣きながら
身をよせて傘もささず
濡れて夜の
銀杏並木は 枯葉をおとし
雨の舗道は 淋しく光る
あなた あなたのかげを
あなたを偲んで 南へ歩く
後略

